00051

Wellness Now!! 2026.9

北陸保全工業株式会社

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門

にいがた健康づくりtime 2026 にいがた健康経営推進企業マスター

GOLD 新潟市健康経営認定制度

にいがた ヘルス&スポーツコイレージ GUPPY 健康寿命をのばそう! Smart Life Project

9月を迎え、朝夕には少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。最近は時季外れのインフルエンザが流行するなど、長雨や夏の疲れと相まって体調不良が発生しやすい傾向にあります。体力維持の基本は、よく食べてよく寝ることですので、食欲の秋を満喫しつつ、心地よい睡眠を意識して、日々のコンディションを整えていきましょう！

【いわき市】企業の健康づくりサポートプログラム2026

健康的な職場づくりワークショップに参加しました

9月8日、福島県いわき市で開催された「企業の健康づくり推進ワークショップ」に、当社健康経営推進事務局・松浦が講師として参加しました（オンライン）。本ワークショップは、いわき市健康づくり推進課が市内企業の健康経営を支援する目的で実施しているもので、健康経営に関心を持つ企業や、これから取り組みを始めようとしている企業の担当者が参加されました。

- ✓ 健康経営に取り組み始めた背景
- ✓ 初期段階での工夫やつまずき
- ✓ 推進体制の整え方
- ✓ 従業員への働きかけのポイント
- ✓ 実際に得られた成果と課題

＼記事が公開されています／

ヘルスケアケアプロジェクト
「いわきの極意」@iwakinogokui

リモート形式での参加にもかかわらず、質疑応答を通じて活発な意見交換が行われました。距離を越えて、地域企業の皆さまと健康づくりの知見を共有できたことは、当社にとっても大変有意義な機会となりました。（松浦）

令和8年度ヘルスケア産業高度化推進事業

にいがた健康経営セミナー2026で事例発表

9月14日、新潟県が主催する「令和8年度ヘルスケア産業高度化推進事業・にいがた健康経営セミナー2026」において、当社総務課長・松浦が事例発表を行いました。本セミナーは、県内企業の健康経営の質向上と、ヘルスケア産業の発展を目的として開催されているもので、企業・医療機関・支援団体など多様な関係者が参加されました。

事例発表「未来をつくる健康経営の設計図」
メインテーマ：熱中症対策「デジタル×装備×補給」を掛け合わせた、全方位の危機管理

2026.9.25 新潟日報（朝刊）紙面

企業の担当者らが健康経営の取り組みを紹介したセミナー＝新潟市西区

【予告】R8女性の健康と女性活躍セミナー

10月16日に開催される「R8女性の健康と女性活躍セミナー」において、当社の取り組み事例を発表する機会をいただきました。

本セミナーでは、女性の健康支援と活躍推進に向けた企業の実践事例が紹介される予定であり、当社がこれまで取り組んできた健康経営の推進や、将来に向けた施策について発信いたします。

女性の健康推進は、企業や組織だけでなく、地域や家庭においても大切なテーマです。ぜひご視聴ください！

詳細・お申込みはコチラ

主催：公益財団法人 新潟県女性財団

資料はコチラ

10月は 体力つくり強調月間

+α 9月～11月は 健康立県にいがた推進強化期間

体力つくり強調月間とは

出典：公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

1964年の東京オリンピック直後に閣議決定された「国民の健康・体力増強対策について」に基づき、行政・民間団体による「体力つくり国民会議」が発足しました。これら233団体（2009年4月現在）が連携しながら国民の健康・体力の保持・増進のために活動しています。

スポーツ庁 国民のスポーツライフ→

←（公財）健康・体力づくり事業財団

- 日常のちょっとした動き
- 秋は「食べて整える」
- 良質な睡眠が体力を支える

職場全体で取り組む「体力づくり」

開催概要（チラシ）↓

参加者募集!!

新潟市主催　令和８年度　秋
事業所ウオーキングチャレンジ

実施期間：令和8年10月8日～10月28日

■ チームコード

■ イベントコード

10月7日までに、グッピーヘルスケアからエントリーしてください！

北陸保全工業

60年の物語

第9話：未来につなぐ襷（タスキ）― 創業者から次世代へ

企業の永続的な成長を支えるのは、創業者の精神をいかにして次世代へと継承していくかという、終わりのない挑戦です。北陸保全工業の物語もまた、創業者から現代表へ、そして次世代へと続く「襷リレー」によって紡がれてきました。

創業者には、「45周年を盛大に祝いたい」という夢がありましたが、その想いを果たせずにいました。その遺志を継いだのが、現グループ代表の青池仁氏です。父の跡を継いでから、実に13年以上の歳月が流れていました。彼は父の未完の夢を胸に会社を導き、今、60周年という大きな節目を、次なる時代への飛躍台と位置づけています。

未来への布石

その未来に向け、二つの重要な出来事があります。

一つ目は、令和4年6月に長男・青池祐輝氏が入社したことで、創業者の想い、そして現代表が築き上げてきたものを次の世代へとつなぐ襷リレーが、確かに始まりました。

二つ目は、60周年を機に、「100年企業」を目指すという明確なビジョンを社内外に発信することです。これは過去の実績に満足せず、常に挑戦を続けるという強い意志の表れであり、次の時代へ向けた企業としての覚悟を示すものです。

これから迎える60周年記念は、単なる祝賀会ではありません。創業者の夢を叶え、全社員が会社の歴史と未来へのビジョンを共有し、心を一つにするための極めて重要な機会なのです。次回は、そのビジョンをさらに深く掘り下げていきます。

次回　第10話：100年企業への挑戦 ― ビジョンを語る